

### 【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・関係機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

#### 1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

#### 2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

#### 3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

#### 4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

#### 5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

### 3階 介護 柳田 海

3月3日にひな祭り会を行いました。

ひな祭りに関するクイズを行ったり、皆で歌を歌ったりしました。クイズに自身のある方は元気に札をあげ答えられ、歌に自信のない方も手拍子や小さな声で口ずさみながら楽しまれていました。

昼食には行事食のひな祭り膳が振舞われ、ちらし寿司やまぐろのたたき、菜の花の辛子和えに紅白ゼリーなどが提供されました。利用者の皆様は「美味しい」と食べられ、とても好評でした。

これからも季節にあわせた行事で利用者の皆様に楽しんでいただきたいと思います。



### 1階 リハビリ 柳橋 正彦

リハビリは急性期、回復期、維持期(生活期)と3つの期間に分けられ、急性期は病気や障害が発生して間もなく～3か月くらい、回復期は3か月～6か月くらいであり、ここ老健で行われるリハビリは6か月以降の維持期と言われるものが中心です。麻痺の回復、筋力や関節の可動性に対して等身体・運動機能への働きかけも必要に応じて行いますが、どのような形になると自分で出来ることが増えるのか？今やれていることがもっと上手に、容易に出来るのか？動作が安定するのか？等生活に直結したことをご本人様や他の専門職の皆さんと一緒に考えながら進めていきます。利用者様とご家族の希望を取り入れながら少しでも老健施設としての理念や役割が果たせるよう日々精進しております。



### 3階 看護 小笠原 直美

日ごとに暖かさが増し、春らしくなってきました。ご家族の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

4月は寒暖の差や気圧の変動が大きい季節です。自律神経の乱れなどから体調不良になりやすい時期となります。また高齢の方は冷えにより膀胱炎や神経痛、関節痛などの症状悪化が見られる時期でもあり注意が必要です。

自律神経を整えるには①生活リズムを整える②適度な運動③リラックス④食事の見直し⑤呼吸法を行うなどがあります。入所者皆様の体調を維持出来るよう、個々の状態に合わせ過ぎしやすい環境を提供してまいります。



相談室 佐々木 智広

先月、ご家族宛に家族構成・緊急連絡先をご記入頂く用紙を送らせて頂いております。「しょうわ」からご家族の皆様へ連絡を差し上げる際の大事な資料となりますので、まだご提出頂いていない方は、お早めに窓口までお持ち下さい。ご協力をお願い致します。



#### 【面会について】

現在インフルエンザ等感染防止の為、**対面での面会を中止**させていただいております。

なお窓越し面会やタブレットでの面会は可能ですので、日時をご確認いただきご予約の上、ご利用ください。窓越しやタブレットでの面会につきまして、面会時間は概ね10分程度とさせていただきます。

面会時はマスク着用と手指消毒をしていただき、体調不良の方(下痢、風邪症状のある方や37.5℃以上の方)は、面会を御遠慮いただいておりますので、ご了承下さい。

今後、感染症の流行状況により、更なる面会の制限や中止をさせていただくこともございます。ご不便とご心配をおかけしますが、ご協力の程宜しくお願い致します。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100 (代)